

昼食は・・・泉仙大慈院、精進鉄鉢料理！ 満載京都

伝統建築物見学研修会「日帰りバス」開催案内

西本願寺「飛雲閣、白書院、能舞台」

島原角屋花街散策及び京町家の宿「正庵」

(締切：10/31まで) 定員：45名 締切

記

愛知県建築組合連合会では組合員さんの技能向上に関する事業として、伝統建築物見学研修会を開催致します。京町家をリフォームした旅館「正庵」、「西本願寺」建造物（飛雲閣、白書院、能舞台）等を堪能して、京の花街・島原を訪ねて、新撰組御用達！“おもてなし”の館、食と芸で客人をもてなす島原の揚屋『角屋もてなしの文化美術館』を見学研修させていただきます。

昼食は精進鉄鉢料理をご用意させていただき、秋の紅葉を楽しんで、日頃の疲れを癒していただくよう大勢の方に参加いただきますようお願いいたします。



(1) 日時 平成28年 11月 11日(金) 参加費 8,000円(定員45名締切)

(2) 集合 栄テレビ塔北駐車場 AM 7時30分

《行程表》 7:15 配車

栄テレビ塔 バス駐車場	=	京都東IC	=	「西本願寺」	=	(昼食) 泉仙大慈院	=
AM 7:30 出発				9:45~11:15		11:30~12:30	
京町家(正庵)	=	「島原角屋文化美術館」	=	京都東IC	=	栄地下鉄出入口	
13:00~14:30		14:40~16:00				18:30 頃予定	

(3) 申込方法 下記の申込用紙にご記入いただき、このままFAX送信いただき、参加費は下記へ振込みいただくようお願いいたします。

【振込先】名義：愛知県建築組合連合会 名古屋銀行 黒川支店 普通3417556

FAX 052-910-0609まで 先着受付

(京都)「町家宿正庵」及び西本願寺、島原角屋見学研修会 参加申込書

氏名		生年月日	
住所 〒		電話番号	
		携帯番号	
所属支部		職種	

西本願寺

飛雲閣

金閣、銀閣とともに京都三名閣の一つ。秀吉が建てた聚楽第(じゅらくだい)の一部ともいわれており、三層からなる楼閣(ろうかく)建築です。



南能舞台

対面所前の南能舞台は、現存する日本最大の能舞台で、毎年 5 月 21 日の宗祖降誕会に祝賀能が演じられます。



北能舞台

白書院前の北能舞台は、懸魚(げぎょ)に天正 9 年(1581)の墨書紙片があり、日本最古の能舞台とされています。

白書院

対面所の北裏にある賓客(ひんきやく)を迎える正式の書院。一の間、二の間、三の間からなります。一の間は紫明の間ともいわれる最重要の間で、上下段に分かれ、壁面や襖等には中国古代の帝王堯舜(ぎょうしゆん)に関する故事が描かれています。また、三の間は華麗な孔雀を描き、「孔雀の間」ともいわれています。畳を取り除くと能が演ぜられるよう工夫されています。



京町家の宿「正庵」

正庵は「京都市景観重要建造物 歴史的風致形成建造物」に指定されています。

京町家ならではの「うなぎの寝床」と呼ばれる奥の深い造りは、お客様を静かな京の内側へお連れします。通り庭には嫁隠しのつい立、年代物の水屋筆筒が置かれ、吹き抜けの高窓から差し込む光は町家に空間の広がりをもたらします。座敷に入れば京都北山の銘木を使用した通り廊下や離れの格天井と随所に伝統的な町家のしつらえをご堪能いただけます。



島原の町並みと「角屋もてなしの文化美術館」

遊宴の街・島原、西本願寺北の花屋町通西、島原の入り口「島原大門」が見えてきます。島原」と聞くと、江戸の吉原と同じような“遊郭”をイメージする方も多いと思います。

しかし実の所、島原は老若男女家族みんなで楽しめる“遊宴”の街だったので。現在も島原には市指定文化財となっている「置屋」や「揚屋」と呼ばれる建物が残っています。



新撰組御用達！食と芸で客人をもてなす島原の揚屋『角屋』(創建 1640 年、1767 年に現在地に付替)

